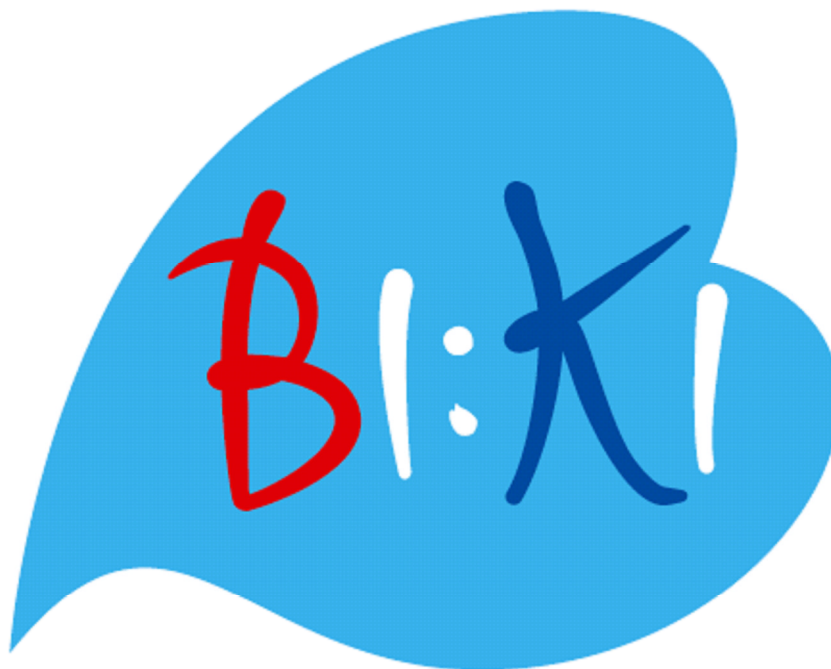


韓国釜山広域市内発行媒体



Busan Information : Kyushu Information

企画提案書

2010年5月



## はじめに

---

2007年末の大統領選公約で、韓国の李明博（イミョンバク）大統領が打ち出した、九州と韓国東南部を一つのエリアとみなす「超広域経済圏構想」。日本にとって最も近く、最も密接な外国である韓国。中でも、韓国第2の都市であり、約360万人が暮らす釜山広域市は観光、経済においてますます重要となってきました。

九州を訪れる韓国人は、2007年で64万人、外国人旅行客の7割を占めています。九州の観光振興を検討する上で、韓国、特に釜山広域市からの観光客をどう取り込むかは重要な課題です。

どうすれば、九州にさらに多くの韓国人観光客を誘客できるのか。また、九州に関心を持つ韓国人旅行客が望む情報とは何か、どう情報発信すべきか。

そこで、全九州で約84万部を発行し、地域とともに歩む西日本新聞社では、九州の魅力・観光情報等を、九州から最も近く、空路も海路も含め交通機関の利便性の高い釜山広域市において、より効率的な観光情報を発信する、インバウンド媒体「[Busan Information](#) : [Kyushu Information](#)」を発行することと致しました。

西日本新聞社が提携する釜山日報と協力し、釜山広域市内での効率的な特集折り込み配布、加えて市内の各施設・旅行会社、ホテル等での特集設置を通して、より効果的な情報発信を図ります。

また、記事制作においては、西日本新聞社の取材網に加え、福岡市内で発行するフリーペーパー「Fukuoka Bi:KI」（西日本新聞社発行・約65万部）ともタイアップ。さらに、釜山市内で日本人観光客向けの観光情報誌「まるごと釜山」を発行するJ&Kと協力し、韓国人にとって違和感のない翻訳を実現します。

2010年末、ソウル～釜山を結ぶKTXが全線開通し、2011年3月には、いよいよ九州新幹線鹿児島ルートが全線開通致します。今後、より一層の交流人口拡大が期待されますが、九州の魅力を釜山の人々に発信し、日韓相互理解の一環としたいと思います。

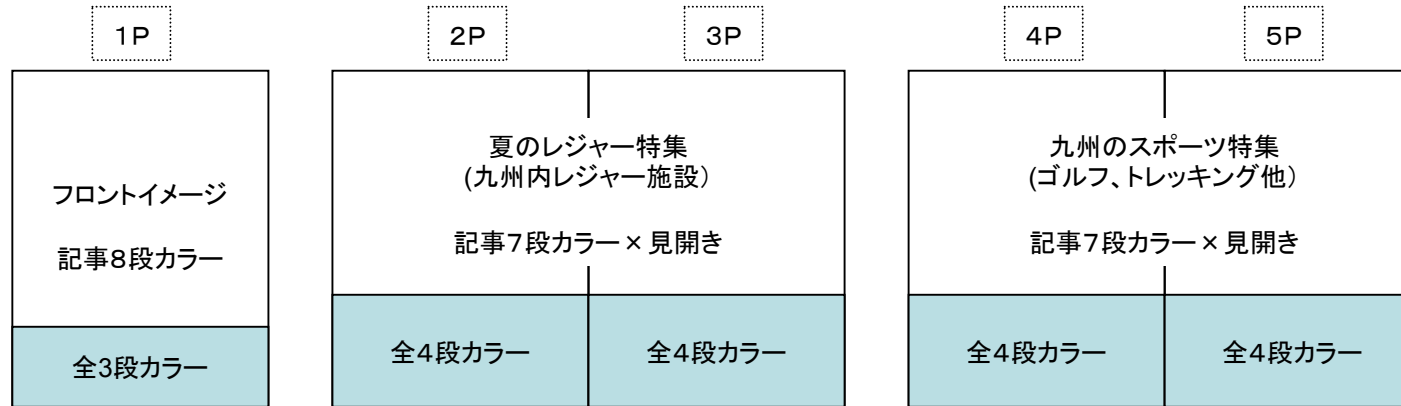
## 特集概要

- ◆媒体名 釜山広域市内発行・九州観光特集「**Busan** Information : **Kyushu** Information」
- ◆発行形態 タブロイド8p・オールカラー（※頁数は変更となる可能性があります）
- ◆掲載言語 韓国語にて構成
- ◆発行部数 10万部（釜山日報折り込み5万部、設置・配布5万部）  
※富裕層が多く住むといわれる海雲台エリアを中心に釜山日報と協議の上、5万部を折り込み配布します  
※釜山広域市内の旅行代理店、ホテル、ターミナル、飲食店等に設置し、5000部を日本国内にも設置します  
※特集内容に関しては、Webサイト（韓国語）でも閲覧できるよう設定します
- ◆発行時期 第1号 2010年6月17日（木） ※原稿締切：5月28日（金）、完全原稿の場合は6月4日（金）  
＜予定＞ ※九州観光推進機構・九州運輸局が主催する「ブサン商談会（釜山市・6月17日開催）」にて配布予定  
第2号 2010年9月30日（木）  
※九州観光推進機構が出展する「日韓交流お祭り（ソウル市・10月2～3日）」、  
九州観光推進機構・九州運輸局が主催する「ソウル商談会（ソウル市・10月14日開催）」にて配布予定  
第3号 2011年3月4日（木）  
※九州新幹線全線開通直前。九州内でも可能設置な場所に設置予定
- ◆紙面体裁 次頁参照
- ◆記事内容 グルメ、菓子、レジャー、スポーツ、景勝地、交通情報など季節にあわせた観光情報を掲載

- 各号の詳細な記事内容は、記事コンテンツが固まり次第、再度ご案内致します
- Webサイトの展開に関しては、後日あらためてご案内致します（現在、調整中）
- ディスプレイ広告、ペイドパブリシティに関して、翻訳も含めて制作をお受けできます

## 紙面展開（案）・ご提案金額

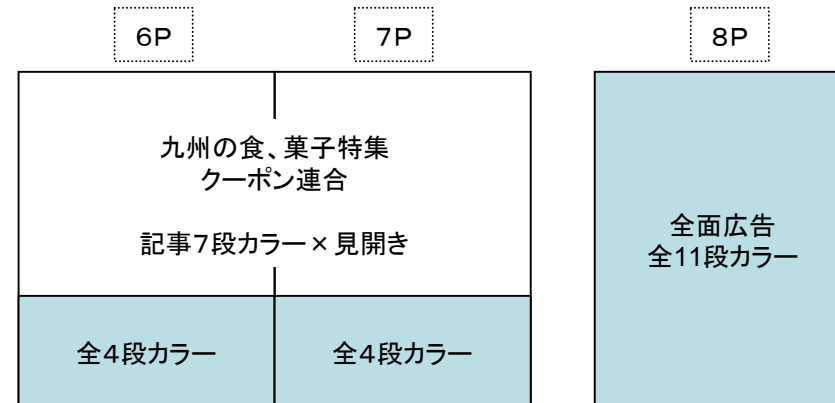
①6月17日号紙面イメージ<予定> ※記事内容、広告段数は若干変更となる可能性があります



### ■ 広告掲載料金 ■

- ◇全3段カラー・・・400,000円（税別）  
※原稿サイズ（天地99mm×左右250mm）
- ◇全4段カラー・・・450,000円（税別）  
※原稿サイズ（天地133mm×左右250mm）
- ◇全広カラー・・・900,000円（税別）  
※原稿サイズ（天地374mm×左右250mm）

※上記金額には、原稿制作費、消費税は含まれておりません。  
 ※翻訳を含めた原稿制作は5万円前後でお受けできます。  
 別途、ご相談下さい。  
 ※記事タイアップ協賛も可能です。別途、ご相談下さい。  
 ※各号での複数回出稿の場合は、10%引きとなります。



◆季刊発行分とは別途、発行時期・発行部数・頁数・配布地域などを特別設定した特集発行も可能です。ご相談下さい